

# 目次

序 調査の実施概要 .....	i
第1部 75の糸口—調査結果から見えてきたこと .....	1
調査結果から見えてきたこと .....	3
75の糸口	
骨子 .....	10
A. 文化政策・文化行政・文化施設 .....	12
B. 劇場・創造・文化の場づくり .....	15
C. アート・アーティストの役割 .....	17
D. コーディネーターに求められる姿勢 .....	20
E. コーディネーターの活躍に向けて .....	23
アドバイザーからの提案	
日常型劇場の冒険（小川智紀） .....	26
文化行政の「あいだ」で働くコーディネーター（野村政之） .....	28
専門人材然としない存在がいることの意味（若林朋子） .....	30
第2部 事例調査レポート .....	33
事例1 市民協働で公立文化施設のあり方を更新する	
長野隆人（いわき芸術文化交流館アリオス） .....	35
事例2 越境と更新を繰り返すアーティスト・表現としてのコーディネート	
アサダワタル（文化活動家／アーティスト、文筆家） .....	51
事例3 地域や政策の境界を超える NPO ならではの多様な取り組み	
小川智紀・田中真実（NPO 法人 S T スポット横浜） .....	62
事例4 演劇や表現から地域の生きにくさと向き合う民間劇場、市民グループ	
荒井洋文（犀の角／一般社団法人シアター&アーツうえだ） .....	78
事例5 支援と提案で文化政策を転換し、地域の未来へ投資する	
野村政之（長野県県民文化部文化政策課） .....	93
事例6 公民館を市民自治のプラットフォームとして捉え直す	
宮城潤（那覇市若狭公民館） .....	105

---

第3部 座談会記録.....	119
1. コーディネーターとしての出自と現在の仕事 .....	121
2. 社会や地域に対する問題意識——アートを通して何と向き合うか.....	122
3. なぜアート、文化芸術なのか.....	126
4. 演劇の力、劇場の力.....	129
5. 市民のポテンシャルを引き出して、結果につなげる .....	130
6. 課題解決と価値創造.....	132
7. 雑談・相談から始まること .....	136
8. 場づくり、しかけづくり.....	137
9. コーディネーターが大切にしたいこと .....	138

# 序 調査の 実施概要

## 1. 調査の目的

「地域における文化・芸術活動を担う人材の育成等に関する調査研究」（H28年発行）から5年が経過し、文化芸術に関する法整備（「文化芸術基本法」「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」）やオリンピック・パラリンピックなど、前回調査から今日までの地域における文化芸術を取り巻く環境が変化し、劇場・ホール職員に求められるスキルが多様化している。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からアーティストの県を跨いでの移動に制限が設けられ、各自治体での文化芸術活動が困難な状況となり、より一層地域と文化的なつながりを構築できる人材の育成が求められている。

本調査では、こうした現状と公立文化施設を取り巻く環境の変化を踏まえつつ、地域と文化・芸術のつなぎ役であるコーディネーターの活動を具体的に紹介することで、“これから”求められる人材のあり方について考察を行い、課題の整理や目指すべき将来像を検討することを目的とする。

## 2. 調査の実施内容

### (1) 意見交換会の実施

公立文化施設や地方公共団体の職員、人材の育成や確保のあり方に関する専門的な知識や経験、課題意識を有する次の専門家3名にアドバイザーを委嘱し、事例調査対象や実施方法、調査結果の整理・分析や報告書のとりまとめについて、専門的な見地から意見交換を行った。

[アドバイザー]

小川智紀（認定NPO法人STスポット横浜 理事長）

野村政之（長野県文化政策課 文化振興コーディネーター）

若林朋子（プロジェクト・コーディネーター／立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 特任教授）

[実施状況]

第1回（2021年6月9日）

- 調査研究の趣旨、内容、スケジュール等
- アドバイザーの考えるコーディネーター像
- 調査対象・調査項目について

第2回（2022年2月1日）

- 事例調査結果・座談会の報告
- 報告書のとりまとめについて

---

### 第3回（2022年3月7日）

- 「第1部 調査結果の総括的なとりまとめ」について
- 報告書の副題について

## (2) 事例調査

地域と文化・芸術のつなぎ役であるコーディネーターを対象に、コーディネーターが活動拠点とする現地を訪問し、実際の活動状況や成果、課題等に関する詳細なインタビュー調査を実施し、あわせてコーディネーターの連携先、関係先（劇場・ホール、アートNPO、地域の文化団体、地方公共団体等）についても、必要に応じてグループインタビューを行った。

調査対象の事例は、既存資料やインターネット検索などを参考にピックアップした約30名のリストから、意見交換会での検討に加え、地域や活動の内容、コーディネーターの所属団体等のバランスを考慮し、次の6組・7名とした。

事例調査の結果は、本報告書「第2部 事例調査レポート」に事例ごとに詳細なレポートとして掲載した。

#### [調査対象事例]

長野隆人（いわき芸術文化交流館アリオス 支配人）

アサダワタル（文化活動家／社会福祉法人愛成会品川地域連携推進室 コミュニティアートディレクター、アーティスト、文筆家）

小川智紀（NPO 法人ST スポット横浜 理事長）・田中真実（NPO 法人S T スポット横浜 事務局 長／横浜市芸術文化教育プラットフォーム 事務局長）

荒井洋文（一般社団法人シアター&アーツうえだ 代表／プロデューサー）

野村政之（長野県県民文化部文化政策課 文化振興コーディネーター）

宮城潤（那覇市若狭公民館 館長／NPO 法人地域サポートわかさ 理事）

#### [調査項目]

- コーディネーターとしての活動内容
- これまでの成果
- 文化芸術を取り巻く地域の環境条件
- 問題点・課題
- 今後の方向性、将来展望 など

## (3) 座談会

意見交換会のアドバイザー、事例調査対象のコーディネーター8名が一堂に会した座談会を行い、

---

地域における文化芸術の役割や可能性、コーディネーターの現状や必要性などについて意見交換を行った。座談会の結果は、本報告書「第3部 座談会記録」に掲載した。

### 3. 調査期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

### 4. 調査の実施体制

本調査は株式会社ニッセイ基礎研究所に委託して実施した。

吉本光宏（ニッセイ基礎研究所 研究理事・芸術文化プロジェクト室長）

森隆一郎（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室 客員研究員）

太田真奈美（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室 研究アシスタント）